

広大メソッド「Autonomous50」

学期	Autonomous 50 ※【 】内は実施形態等	1年	2年	3年	
課題研究を「はじめる」	A1	課題研究についての見通しをもつ【オリエンテーション】			
	A2	自然科学分野、人文科学・社会科学分野における研究課題の設定や研究手法について学ぶ【リレー授業】			
	A3	論文の読み方、組み立て方、構成等について学ぶ【リレー授業】			
	A4	自然科学分野、人文科学・社会科学分野における研究の実際について学ぶ【特別講義】			
	A5	科学と倫理の関係について学ぶ【特別講義】			
	A6	上級生の課題研究発表を聴講し、課題研究の内容や成果発表等について学ぶ【中間発表会、SSHの日】			
	A7	ASコース（理数分野の課題研究）かGSコース（多様な分野の課題研究）かを選択する【ASコース選考】			
	A8	上級生の課題研究論文を読み、科学的な批評を行う【ASコース選考】			
	A9	課題研究のテーマ例（実現可能な研究テーマ）について学ぶ【オリエンテーション】			
	A10	研究計画調書を作成し、共有する【個人、グループ】			
	A11	指導教員との議論により、研究計画調書を修正・改善し、完成させる【グループ】			
	A12	研究チーム・研究テーマを仮決定する			
	A13	研究テーマ・研究チームを正式決定する			
	A14	先行研究（レビュー）を探索し、その内容について議論し、整理する			
	A15	リサーチクエスチョン（問い）について議論し、設定する			
	A16	検証可能な仮説について議論し、設定する			
	A17	研究内容と関わり深い研究者（大学教員等）や卒業生とコンタクトを取り、議論の結果をもとにリサーチクエスチョンや仮説を修正・改善する			
課題研究を「進める」	A18	研究の計画（何をどこまで明らかにするか）を立てる			
	A19	日本語・英語で書かれた科学論文の内容を理解する【授業】			
	A20	予備実験あるいは予備調査の方法について、先行研究（レビュー）を探索する			
	A21	予備実験あるいは予備調査の方法を議論し、計画する			
	A22	予備実験あるいは予備調査を実施する			
	A23	推定、検定等の統計的な手法を学び、結果の分析や解釈に利用する【授業】			
	A24	予備実験あるいは予備調査の結果を分析し、考察する			
	A25	研究内容と関わり深い研究者（大学教員等）や卒業生とコンタクトを取り、予備実験あるいは予備調査の結果について議論する。			
	A26	日本語でのプレゼンテーションの手法を習得する【授業】			
	A27	研究の成果をまとめ、発表を行う【課題研究中間発表会、校外の研究発表会】			
A28	本実験あるいは本調査の方法について、先行研究（レビュー）を探索する				
A29	本実験あるいは本調査の方法を議論し、計画する				
A30	本実験あるいは本調査を実施する				
課題研究を「深める」	A31	本実験あるいは本調査の結果を分析し、考察する			
	A32	研究内容と関わり深い研究者（大学教員等）や卒業生とコンタクトを取り、本実験あるいは本調査の結果について議論する。			
	A33	英語でのプレゼンテーションの手法を習得する【授業】			
	A34	研究の内容について、海外の生徒や外国籍の研究者と意見交換を行う			
	A35	研究の成果をまとめ、発表を行う【SSHの日、校外の研究発表会】			
	A36	研究論文およびアブストラクトの書き方を理解する			
	A37	研究の課題を抽出し、明文化する			
	A38	研究の到達点について議論し、研究論文の章立てを構想する			
	A39	追実験あるいは追調査の方法について、先行研究（レビュー）を探索する			
	A40	ルーブリックを具体化し、研究活動の振り返りを行う			
	A41	追実験あるいは追調査を実施する			
	A42	追実験あるいは追調査の結果を分析し、考察する			
	A43	研究内容と関わり深い研究者（大学教員等）や卒業生とコンタクトを取り、追実験あるいは追調査の結果について議論する			
A44	研究の成果について、その根拠となる先行研究（レビュー）を探索し、理論的裏付けを構築する				
A45	研究内容と関わり深い研究者（大学教員等）や卒業生とコンタクトを取り、研究の成果について議論する。				
A46	研究の成果をまとめ、発表を行う【校外の研究発表会】				
A47	研究の成果を研究論文としてまとめ、提出する				
A48	研究の成果をふまえ、科学と社会の関係について他者と議論する【授業】				
A49	下級生への研究指導を行う【課題研究中間発表会】				
A50	ルーブリックを具体化し、研究活動の振り返りを行う				

文部科学省指定 研究開発学校
スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業指定第4期

2022

Scientific

Academic

Global

Autonomous

- ▶ 研究開発課題
社会に開かれた科学技術を先導する人材育成の起点となる科学教育カリキュラムの開発
- ▶ 研究仮説
教育課程上に学校設定教科「SAGAs(探す)」を設置し、「課題研究」を中核とした科学教育カリキュラムを開発・実施することによって、科学的(Scientific)、高度かつ専門的(Academic)、国際的(Global)、主体的・自律的(Autonomous)な素養を備えた「Sagacity((賢明な判断が下せる)洞察力、深い知性、先見の明)」を形成し、社会に開かれた科学技術(未来社会の創造に向けた科学技術イノベーション)を先導する人材を育成・輩出することができる。
- ▶ 研究開発の目的
社会的変化が人間の予測を超えて加速度的に進展する大変革時代に、「社会に開かれた科学技術(未来社会の創造に向けた科学技術イノベーション)」を先導する人材を育成・輩出するために、その基盤となる能力「Sagacity」を形成する学校設定教科・科目を教育課程上に設置し、「課題研究」を中核とした科学教育カリキュラムを開発する。

広島大学附属高等学校

〒734-0005 広島市南区翠一丁目1番1号
TEL (082)251-0192(代)
FAX (082)252-0725

Hiroshima University High School

1-1 Midori 1-chome, Minami-ku,
Hiroshima 734-0005 Japan
https://www.hiroshima-u.ac.jp/fu_midori/



Super Science Highschool

広島大学附属高等学校



Scientific

第3期までの学校設定科目等の開発内容を統合・発展させて、科学的な「課題研究」の遂行の基盤となる**教科融合カリキュラム**を開発し、授業改善を行う



総合科学(1年, FS講義)



先端科学研修(2年AS)



野外地質実習(2年AS)

Academic

広島大学の全学部・全研究科の支援体制のもと、「課題研究」を活性化・高度化するための**高大連携・接続**システムを開発する



統計科学(2年AS)



総合科学(1年)

社会にも開かれた科学技術となる
先導となる人材の基盤となる

SAGAcity



広島大学教養教育科目(2年)



課題研究の高度化(広島大学N-BIRD, 3年)



サイエンス・コミュニケーション(2年AS)



韓国海外研修(2年AS)

「課題研究」を中核とした学校設定教科「SAGAs(探す)」



生物学実験(2年AS)



基礎化学実験(2年AS)



タイ海外研修(3年AS)



韓国訪日研修(2年AS)



チンゲハイシステム基礎実験(2年AS)



科学コンテストへの参加(3年AS)

Global

第3期までの**海外連携**の成果を発展させて、韓国、タイ等の理数重点校生徒と「課題研究」を協働的に進める(今年度はオンライン等を活用して実施)広島大学留学生と「課題研究」を通じた交流を図るプログラムを開発する

Autonomous

第3期までの「課題研究」の指導方法や評価方法を体系化した**広大メソッド**の開発により、3年間の主体的・自律的な「課題研究」を展開し、授業改善を行う

